

# 2017久喜市いきいき女性議会開催

平成29年10月20日(金)、「2017久喜市いきいき女性議会」を開催しました。幅広い年齢層の女性議員から、さまざまな質問が出され、田中暄二市長や柿沼光夫教育長が答弁しました。



▲答弁する  
田中市長



▲答弁する  
柿沼教育長

【答弁】市長 市では、当該交差点中央に、自発光式の道路鏡を設置したほか、交差点を囲う黄色の区画線を設置して、ドライバーへの注意喚起を行っています。横断歩道の設置については、交通規制であり、埼玉県公安委員会の決定が必要です。市としてはさらなる交通安全対策の速やかな実施が必要と考えています。今後は、当該交差点を通学路に指定する菖蒲南中学校の意見も伺うほか、久喜警察署と協議し、まず、市として注意喚起看板の設置等を実施していきます。

【質問】圏央道の側道と栢間沼を結ぶ道路と稲穂通りとの交差点に横断歩道の設置を



桑原寿子 議員  
(久喜市交通安全  
母の会)

【答弁】市長 障がい者が地域で安心して暮らしていくには、相談体制の確保や緊急時に迅速に対応できることが重要であると考えています。地域生活支援拠点の整備について先進自治体の取り組みを研究し、市内グループホーム等の意見も踏まえ、久喜市障がい者施策推進協議会で協議していきます。福祉避難所は、特別な配慮を必要とする方が避難する施設です。開設には、運営に必要な人員の確保や物資の配備等の体制を整える必要があることから、継続して訓練を実施していきます。

【質問】障がい者の生活を地域で支える地域生活支援拠点の整備について／福祉避難所開設のシュミレーションは



榎 泰子 議員  
(久喜市栗橋手を  
つなぐ育成会)

この女性議会は、久喜市の男女共同参画社会づくりの一環として、女性が市政参加への意識を高め、女性の視点からとらえた意見や要望、提案などをいただくために、男女共同参画推進団体「女と男いきいきネットワーク久喜」との共催、久喜市議会の後援により、開催しました。

参加女性議員は、一般公募8人、女性団体等からの推薦13人、市内高校生4人の計25人です。議長は永園みずき議員、副議長は折原優夏議員が務めました。

ここでは質問と答弁の一部を抜粋し、その要旨をご紹介します。なお、会議録の全文は、市ホームページや人権推進課窓口でもご覧になれます。

問合せ 人権推進課男女共同参画係（内線2325）